

7月1日、ふたば学舎にて、「こうべエコちゃれゼミ 太陽光で水素を作ってみよう！」を10時～12時に開き、児童15名と父兄14名 合計29名が参加しました。

最初に、地球温暖化、太陽光発電、水素燃料電池カーなどについてパワーポイントにて説明しました。

その後、太陽光パネルで作った電気で、水の電気分解をして水素を作る実験を行いました。

そして、実物の水素燃料電池カー「MIRAI」の説明とミニソーラーカーのレースを楽しみました。

締めくくりに、「わたしたちにできること エコチャレンジ」の小冊子について説明しました。

創エネ神戸は、山田、今橋、香川、三上、小嶋、伊賀、渡邊、近藤、大高、中里、岡本が参加。

最初に「地球温暖化」について説明しました。

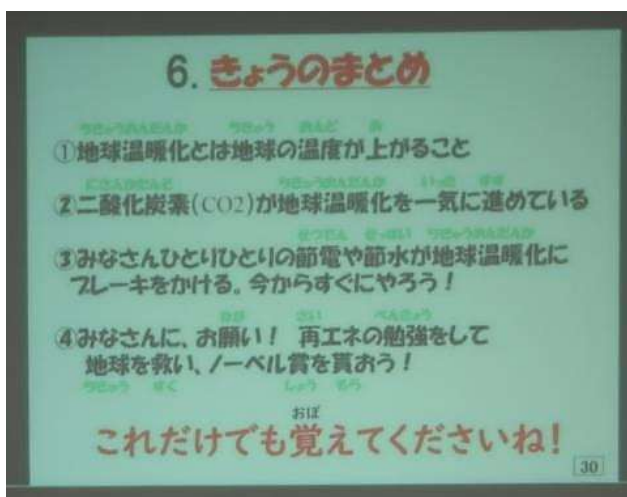


「地球温暖化」で何が起きているの？

なぜ気温が上がっているの？ 二酸化炭素！

自分たちに出来ることは何かな？

太陽光発電、水素エネルギー・・・



少し難しい話を真剣に聞いています。



水の電気分解を行い、水素を作る実験を行いました。  
曇天であり太陽光パネルで発電した電気を使用できませんでした。  
実験の前に、全体の構成と使用するものを説明しました。



各テーブルで、水の電気分解装置で実験をしました。

下から2本の電極を出ている容器に水を入れて、そこにセスキ炭酸ソーダを入れました。

水素が発生する一極にヤクルトの容器に水を満たして、逆さまに被せました電極にDC電源より配線をするると、水素と酸素の気泡が出てきました。



水素が溜まったヤクルトの容器をトングで持ち上げて、着火マンに火をつけて下から近づけると「ポッ！」と爆発をしました。この水素爆発で水素が発生したことを確認しました。



神戸トヨペットより、実物の水素燃料電池カー「MIRAI」を前にして説明がありました。



またソーラーカーレースを楽しんでもらいました。  
太陽光の代わりに電球の光で充電中です。



いよいよソーラーカーレースです。  
スピードが速く歓声があがっていました。  
何度もレースを楽しみました。



最後に「わたしたちにできること エコチャレンジ」の 12 ページの小冊子を配り、説明をしました。



8つのエコチャレンジ項目が記載されており、家族で見ても話し合うことを約束しました。

ほとんどの児童が水素について学んで「楽しかった!」との感想でした。

(作成 岡本紘一)